



前編集長の中沢卓実さん(右)から山崎健太郎編集長にバトンが渡された

# 船橋密着のタウン誌復刊

“マイフナ魂” 若さで引き継ぐ

昨年十月から一時休刊していた船橋市密着型の月刊タウン誌「myふなばし」が、「My Funa」と名称を変えて復刊した。体調を崩した前編集長の意志を引き継ぎ、新たなスタッフが集まって実現。三十二歳の山崎健太郎・新編集長は「船橋の魅力を再発見してもらいたい」と意欲を燃やしている。発行部数は二万部。フリーペーパーとして毎月市内約千二百カ所に置かれる。

## 新体制、フリーペーパーで毎月2万部

同誌は約二十三年前に創刊。一部二百円で病院などに置かれ、地元住民から愛されてきた。しかし、長年一人で発行し続けてきた前編集長の中沢卓実さん(七七)が体調を崩し、昨年十月号を最後に休刊していた。

「後任となってくれる人を探していた」という中沢さん。そこに手を挙げたのが、市内で求人誌の営業代理店を経営していた山崎編集長だった。「船橋育ちだが、営業で市内を回っていると意外と知らない場所が多かった。タウン誌でそれが伝えられれば」

雑誌編集の経験がない山崎編集長だったが、「営業のノウハウはある」と猛烈アピール。中沢さんは「若さと情熱を買った」と後を託した。山崎編集長は復刊に当たり株式会社「myふなばし」を設立し、資本金九百四十万円のうち五百万円を自ら出資。残りは市内経

済界に協力を求めた。復刊号の二百八十二号は、中央卸売市場をクロージアップ。藤代孝七市長と船橋商工会議所の伊藤賢二会頭の対談も掲載している。次号はふなばしアンデルセン公園を特集するとい

う。毎月二十日発行で、A4判フルカラー、三十六ページ。配置場所約千二百カ所のうち、市内の二十五公民館と四図書館にはそれぞれ百部ずつ置かれる。

問い合わせはmyふなばし(☎047-420-3140)。